

(様式)産業系用

瀬戸内海環境保全特別措置法に
基づく事前評価に関する書面

申請者の住所及び氏名(法人にあつては所在地、名称、代表者氏名)

京都市左京区吉田本町
国立大学法人京都大学
学長 湊 長博

1. 工場又は事業場の概要

工場又は事業場の名称	京都大学複合原子力科学研究所		
工場又は事業場の所在地	大阪府泉南郡熊取町朝代西 2 丁目 1010		
資本金		(全社) 従業員数 (当工場)	127 人
産業分類 (中分類)	工学研究所 (9312)	主要製品名	
工場又は事業場の特定施設 (番号、名称、基数)	71 の 2-イ 洗浄施設 136 基 (別表 1-2 参照)		
排水の量	通常 330 m ³ /日、最大 335 m ³ /日		
汚水等の処理の方法	生活排水・一部試験室排水・非放射性排水：公共下水接続 上記以外の試験室排水：蒸発濃縮、凝集沈殿ろ過、イオン交換		

2. 許可申請の概要及びその理由 (別表 1-2 参照)

このたび、当研究所では以下について変更を行います。

- ・71 号の 2 イ洗浄施設 第一研究棟 1 基 (ドラフトチャンバー) を設置します。
- ・「1,4-ジメチル」を追加しました。新任の教員が着任され、ドラフトチャンバーの新設に伴い、新たな実験工程で「1,4-ジメチル」を使用することになった。有害物質を含む廃液は分別して、定められた廃液タンクに貯留します。また実験器具の洗浄排水は 3 次洗浄 (3 回希釈後※1、水洗浄して排水に流す) 以降とするため、環境及び汚濁負荷に影響はありません。※1 希釈排水は定められた廃液タンクに貯留する。
- ・第一研究棟 I-111 室 STL の洗面化粧台流しは研究業務用として使用しないため、許可後、特定施設廃止とする。

今回設置する特定施設の実験排水は全て処理後、公共下水道に放流するため、公共用水域への最終排水量 330m³/日及び汚染状態に変更はありません。

3. 工場又は事業場の各排水口における排水の汚染状態の通常値及び最大値、当該排水の一日当たりの通常量及び最大量並びに当該排水の汚濁負荷量

排水口	区分 項目	現状				設置（変更）後				負荷量の増減	
		水量・水質		負荷量		水量・水質		負荷量			
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
最終排水口	排水量 (m ³ /日)	330	335			330	335				
	pH (—)	7.9	8.4			7.9	8.4				
	BOD (mg/L)	4	12	1.320	1.340	4	12	1.320	1.340	±0.000	±0.000
	COD (mg/L)	8	15	2.640	2.680	8	15	2.640	2.680	±0.000	±0.000
	SS (mg/L)	22	40	7.260	7.370	22	40	7.260	7.370	±0.000	±0.000
	T-N (mg/L)	4	6	1.320	1.340	4	6	1.320	1.340	±0.000	±0.000
	T-P (mg/L)	0.20	0.44	0.066	0.067	0.20	0.44	0.066	0.067	±0.000	±0.000
	n-hex抽出物質 (mg/L)	<1	1	0	0	<1	1	0	0	±0.000	±0.000
	T-Cr (mg/L)	<0.005	<0.005	0	0	<0.005	<0.005	0	0	±0.000	±0.000
	有機リン (mg/L)	<0.1	<0.1	0	0	<0.1	<0.1	0	0	±0.000	±0.000
	Pb (mg/L)	<0.1	<0.1	0	0	<0.1	<0.1	0	0	±0.000	±0.000
	Zn (mg/L)	<0.05	<0.05	0	0	<0.05	<0.05	0	0	±0.000	±0.000
	Sol-Fe (mg/L)	0.33	0.45	0.109	0.111	0.33	0.45	0.109	0.111	±0.000	±0.000
	Sol-Mn (mg/L)	0.05	0.08	0.017	0.017	0.05	0.08	0.017	0.017	±0.000	±0.000
	Cu (mg/L)	<0.02	<0.02	0	0	<0.02	<0.02	0	0	±0.000	±0.000
	F (mg/L)	0.3	0.7	0.099	0.101	0.3	0.7	0.099	0.101	±0.000	±0.000
	PCB (mg/L)	<0.0003	<0.0003	0	0	<0.0003	<0.0003	0	0	±0.000	±0.000
	Cr6+ (mg/L)	<0.02	<0.02	0	0	<0.02	<0.02	0	0	±0.000	±0.000
	Cd (mg/L)	<0.01	<0.01	0	0	<0.01	<0.01	0	0	±0.000	±0.000
	大腸菌数 (CFU/mL)	400	800	-	-	400	800	-	-	±0.000	±0.000
	フェノール (mg/L)	<0.1	<0.1	0	0	<0.1	<0.1	0	0	±0.000	±0.000
	As (mg/L)	<0.005	<0.005	0	0	<0.005	<0.005	0	0	±0.000	±0.000
	CN (mg/L)	<0.1	<0.1	0	0	<0.1	<0.1	0	0	±0.000	±0.000
	T-Hg (mg/L)	<0.005	<0.005	0	0	<0.005	<0.005	0	0	±0.000	±0.000
	トリクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	0	0	<0.001	<0.001	0	0	±0.000	±0.000
	テトラクロロエチレン (mg/L)	<0.001	<0.001	0	0	<0.001	<0.001	0	0	±0.000	±0.000
	ベンゼン (mg/L)	<0.01	<0.01	0	0	<0.01	<0.01	0	0	±0.000	±0.000
	Se (mg/L)	<0.01	<0.01	0	0	<0.01	<0.01	0	0	±0.000	±0.000
	ジクロロメタン (mg/L)	<0.02	<0.02	0	0	<0.02	<0.02	0	0	±0.000	±0.000
	四塩化炭素 (mg/L)	<0.002	<0.002	0	0	<0.002	<0.002	0	0	±0.000	±0.000
B (mg/L)	<0.1	1	0	0	<0.1	1	0	0	±0.000	±0.000	
アンモニア等 (mg/L)	4	6	1.320	1.340	4	6	1.320	1.340	±0.000	±0.000	
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	<0.004	<0.004	0	0	<0.004	<0.004	0	0	±0.000	±0.000	
1,4-ジメチルベンゼン (mg/L)	-	-	-	-	<0.005	<0.005	0	0	±0.000	±0.000	

備考：最大負荷量 (kg/日) = 最大排水量 (m³/日) × 通常水質 (mg/L) × 10⁻³
通常負荷量 (kg/日) = 通常排水量 (m³/日) × 通常水質 (mg/L) × 10⁻³

4. 工場又は事業場の排水口の位置及び数並びに汚水等の処理系統

(1) 排水口の位置及び数

別図1 (別図1-A、1-B、1-C) のとおり 1本 (うち雨水専用 0本)

(2) 汚水等の処理系統

別図5 のとおり

5. 工場又は事業場の排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 排水経路 (別図2 参照)

排出先の河川・海域名	佐野川		
環境基準点	昭平橋		
環境基準類型	D		

(2) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003 mg/L 以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L 以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
鉛	0.01 mg/L 以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
六価クロム	0.02 mg/L 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L 以下
砒素	0.01 mg/L 以下	チウラム	0.006 mg/L 以下
総水銀	0.0005 mg/L 以下	シマジン	0.003 mg/L 以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/L 以下
PCB	検出されないこと	ベンゼン	0.01 mg/L 以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L 以下	セレン	0.01 mg/L 以下
四塩化炭素	0.002 mg/L 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L 以下		
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	ふっ素 (※)	0.8 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L 以下	ほう素 (※)	1 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L 以下	1,4-ジチオキサン	0.05 mg/L 以下

(※) 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

(3) 生活環境の保全に関する環境基準

(河川)

類型	基準値								
	pH (-)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100ml)	n-hex 抽出物質 (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)
D	6.0 以上 8.5 以下	8 以下	-	100 以下	2 以上	-	-	-	-

(4) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

- ① ダイキソ類対策特別措置法に基づく環境基準
ダイキソ類 1 pg-TEQ/L
- ② その他

6. 周辺公共用水域の現況その他当該水域の現況に関する事項

(汚濁負荷量が増加しない場合)

(1) 周辺公共用水域の現況

測定時期、測定期間名 令和5年度 大阪府域河川等水質調査結果報告書

(河川域)

環境基準点		pH (-)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	n-Hex 抽出物質 (mg/L)	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (mg/L)	D0 (mg/L)
D	最小	7.1	2.0	6.3	2	2.1	0.28	<0.5	1.0	8.6
	最大	8.8	5.4	7.9	9	2.9	0.59	<0.5	1.6	13
	平均	-	3.3	7.1	5	2.4	0.41	<0.5	1.3	11

環境基準点		全亜鉛 (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	溶解性鉄 (mg/L)	溶解性マンガン (mg/L)	ふっ素 (mg/L)
D	最小	0.014	-	0.19	0.02	0.13
	最大	0.018	-	0.23	0.02	0.24
	平均	0.016	-	0.21	0.02	0.19

(2) 当該水域の現況に関する事項

雨山川・佐野川を水源とし、数多くの貯水池と取水堰・耕地を水路で結んで、農業用水として利用されている。また、地形的に排水河川として利用されている。上水道の水源及び工業用水としての取水はない。

8. その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して
参考となるべき事項

(1) 特定施設の管理体制

京都大学排水・廃棄物管理等規程による
実務は、特定施設を設置している実験室の管理者が「原点処理」と「排出者責任」
の原則のもとで行っている。

(2) 汚水処理施設の管理体制

事務部設備掛が担当しているが、実務は民間管理会社に委託しており、週一回の
巡回管理を行っている。

(3) 排水の分析

最終排水路で偶数月 1 回 5 項目 (pH、COD、BOD、浮遊物質量、ノルマルヘキサン
抽出物質含有量)、特定排水路で奇数月 1 回 5 項目 (pH、COD、BOD、浮遊物質量、ノ
ルマルヘキサン抽出物質含有量)、下水最終升で毎月 1 回 15 項目 (pH、鉛、フッ素、
6 価クロム、カドミウム、ヒ素、シアン、全水銀、四塩化炭素、ジクロロメタン、
1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、セレン及びその化合物、ホウ素、1,4-ジオキサン)、
さらに最終排水路と特定排水路は年に 1 回全規制項目の分析を行っている。

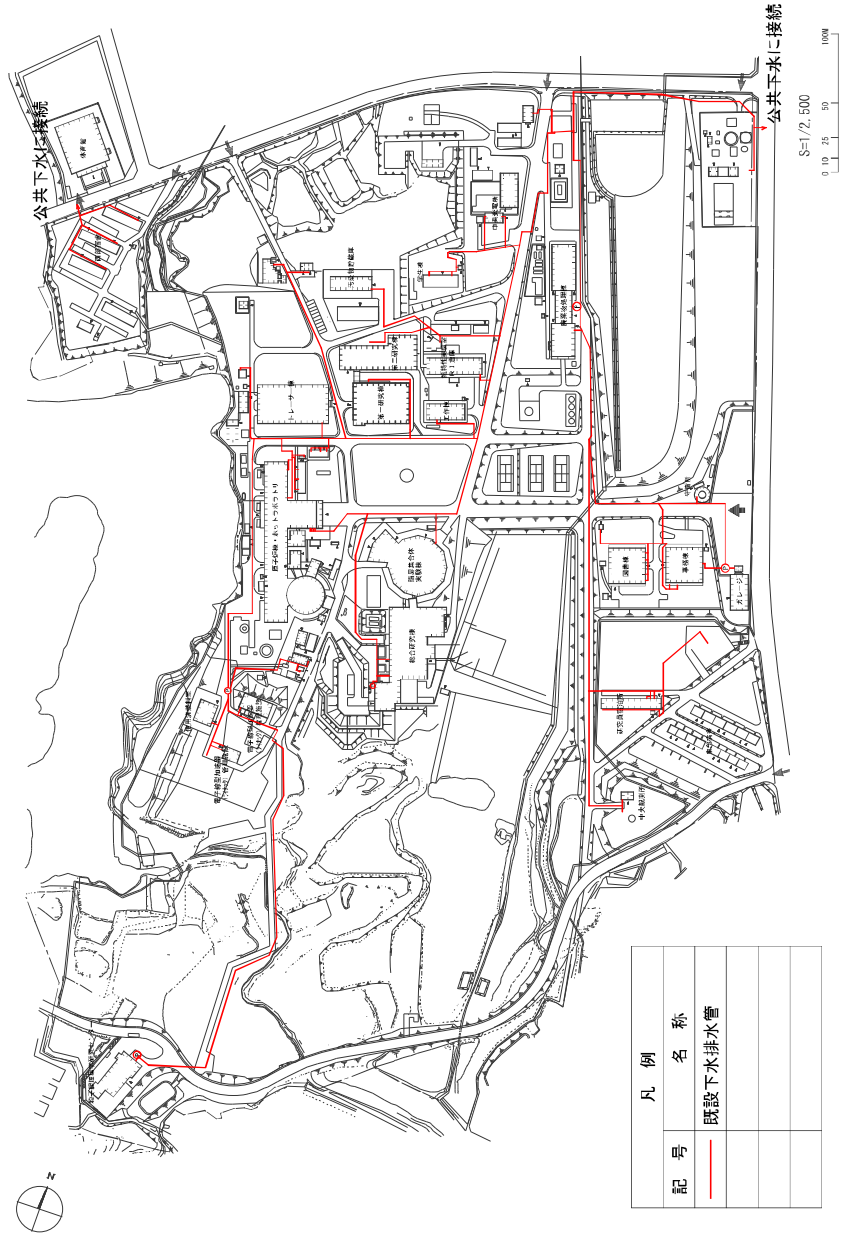
分析は民間分析会社に委託している。

また、COD、T-N、T-P は特定排水路で指定計測法により 7 日に 1 回計測している。

(4) 用途地域

市街化調整区域

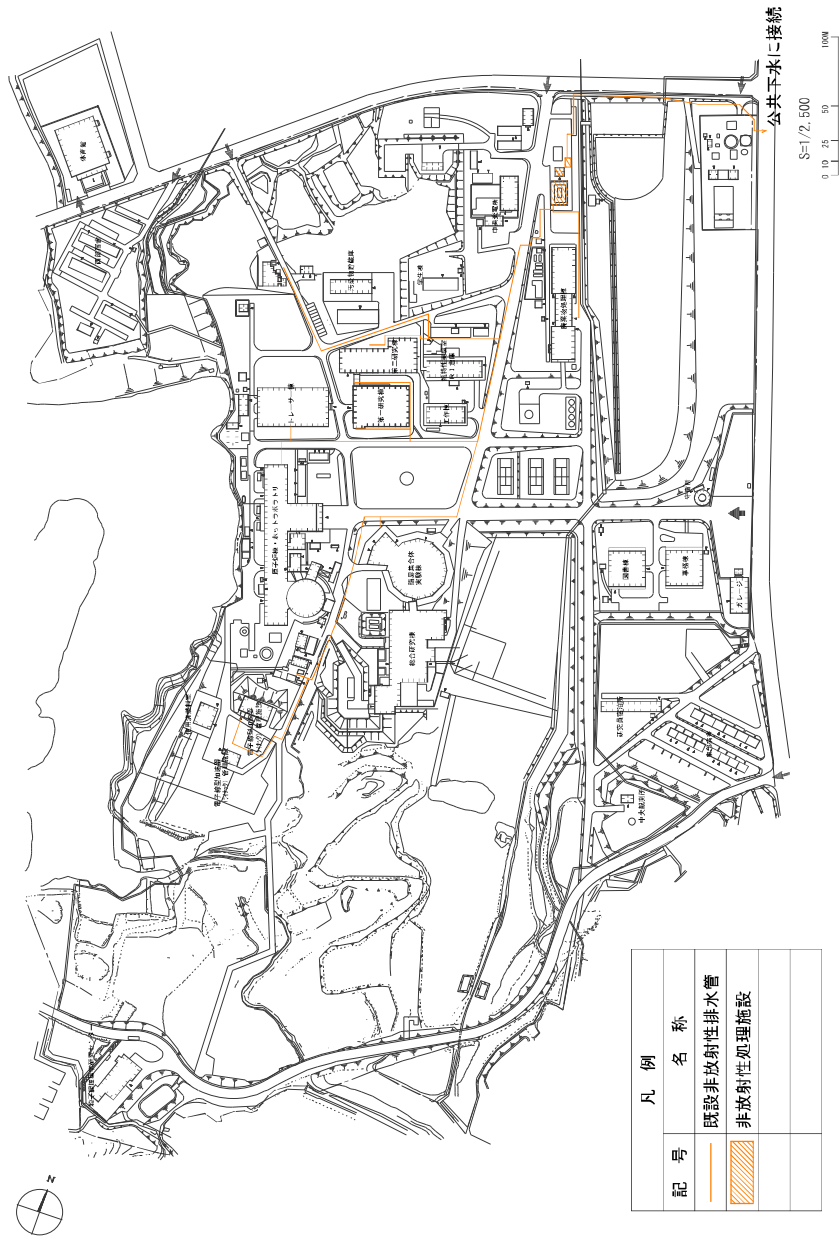
(5) その他参考となる事項



凡 例	
記 号	名 称
—	既設下水排水管

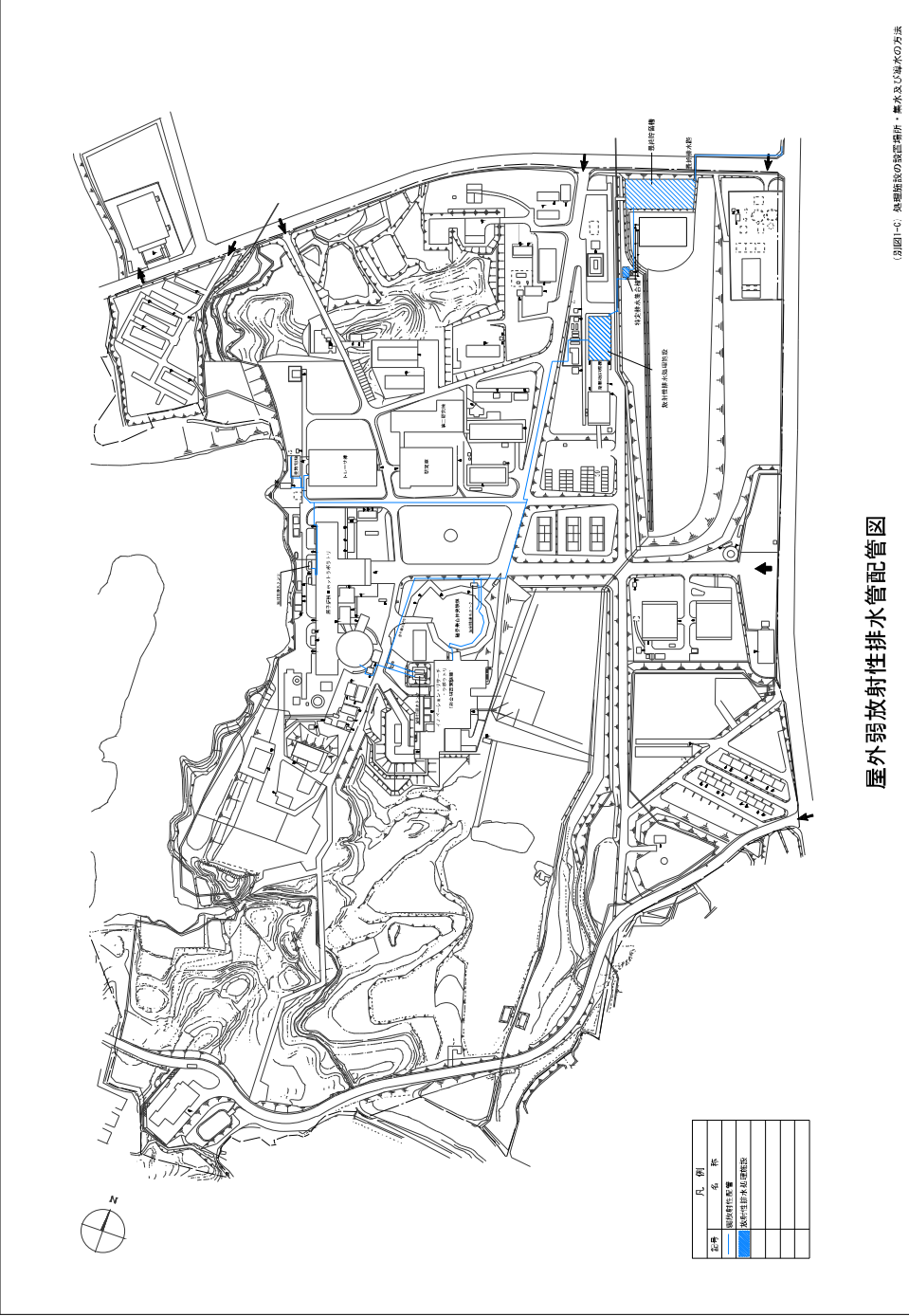
屋外下水排水配管図

(別図1-A) 処理施設の設置場所 ■ 集水及び導水の方法



屋外非放射性排水配管図

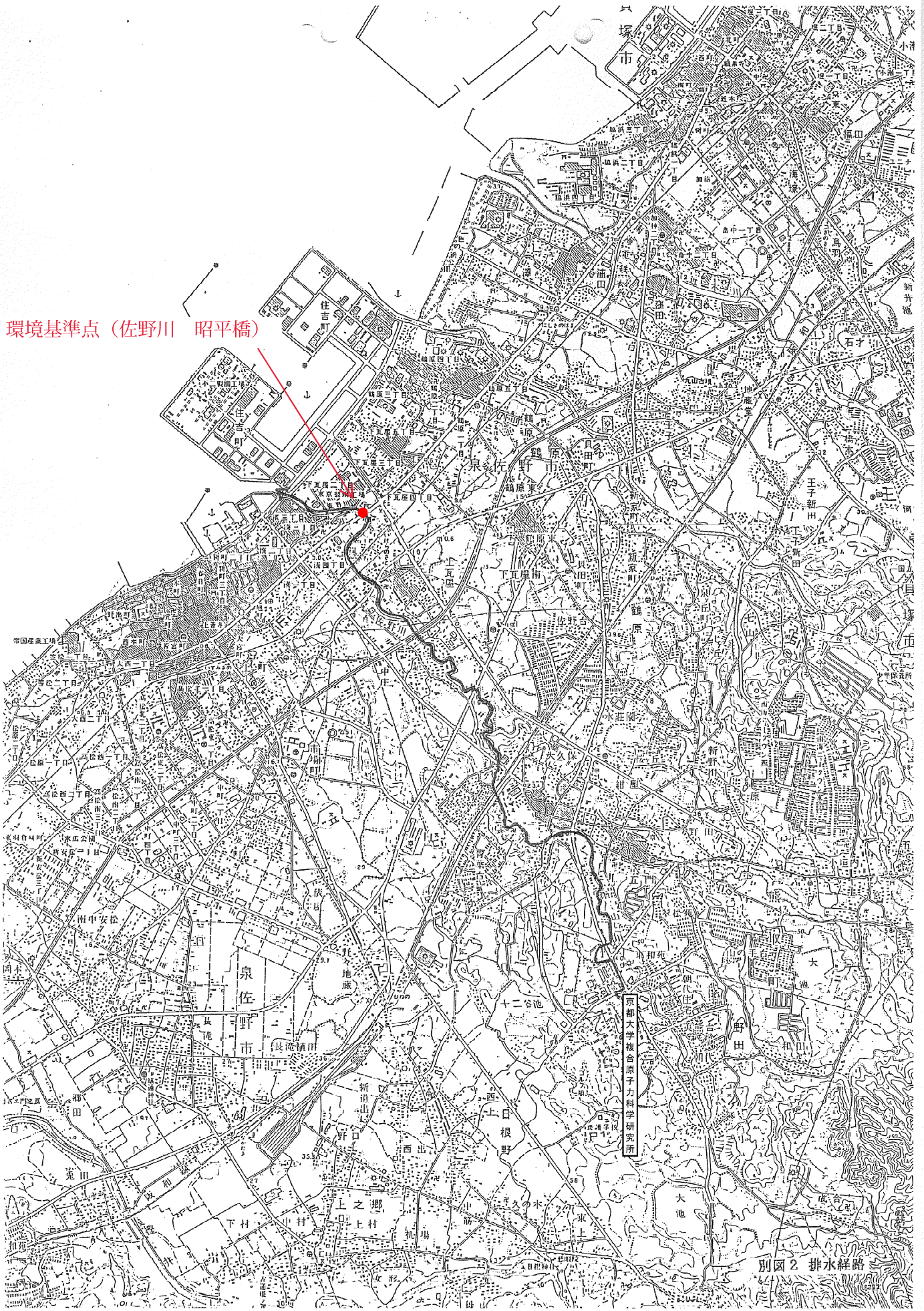
(別図1-B) 処理施設の設置場所・集水及び導水の方法



屋外放射線排水配管図

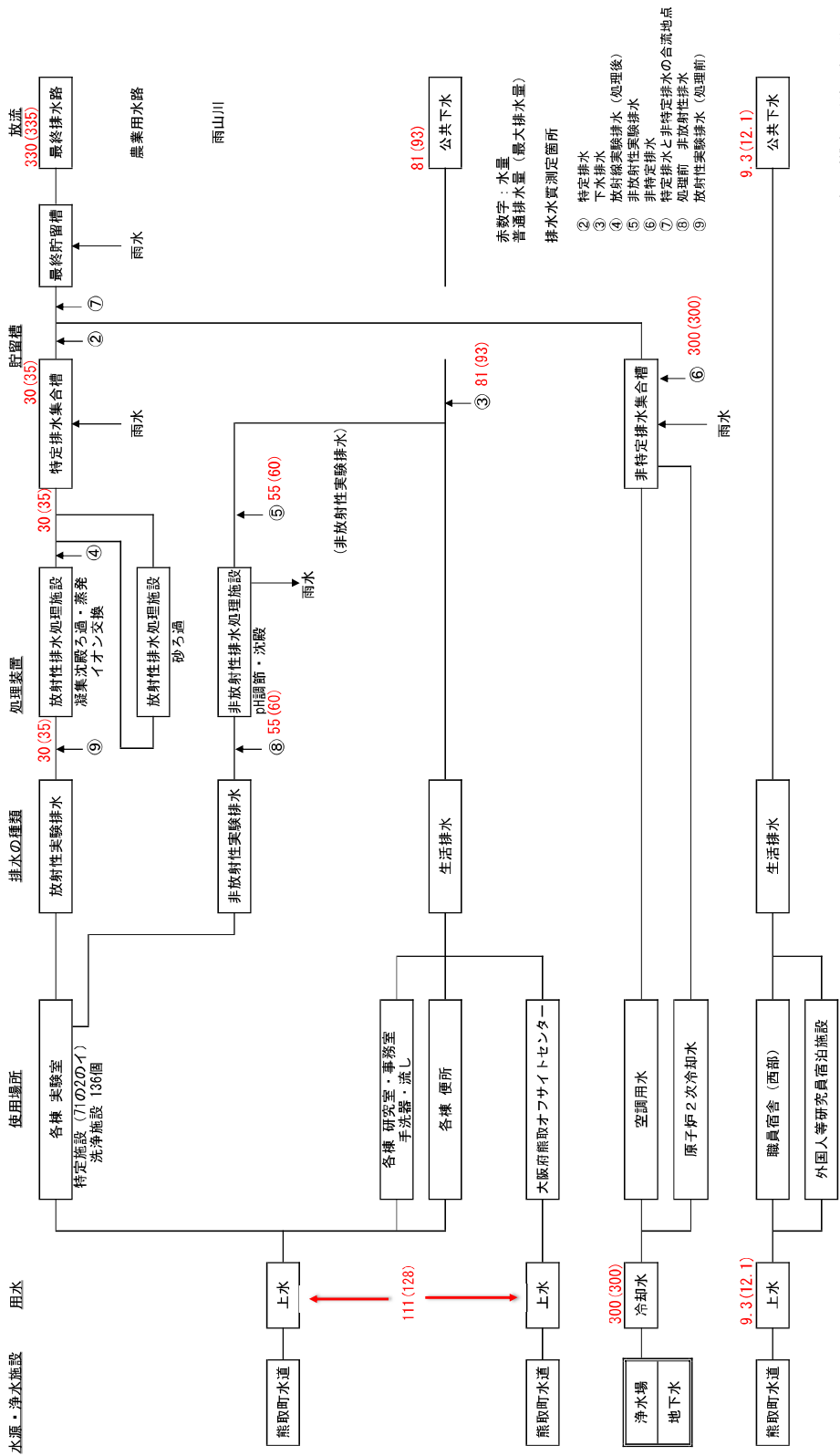
図1-C: 放射線防護施設・排水及び海水の方振

環境基準点 (佐野川 昭平橋)



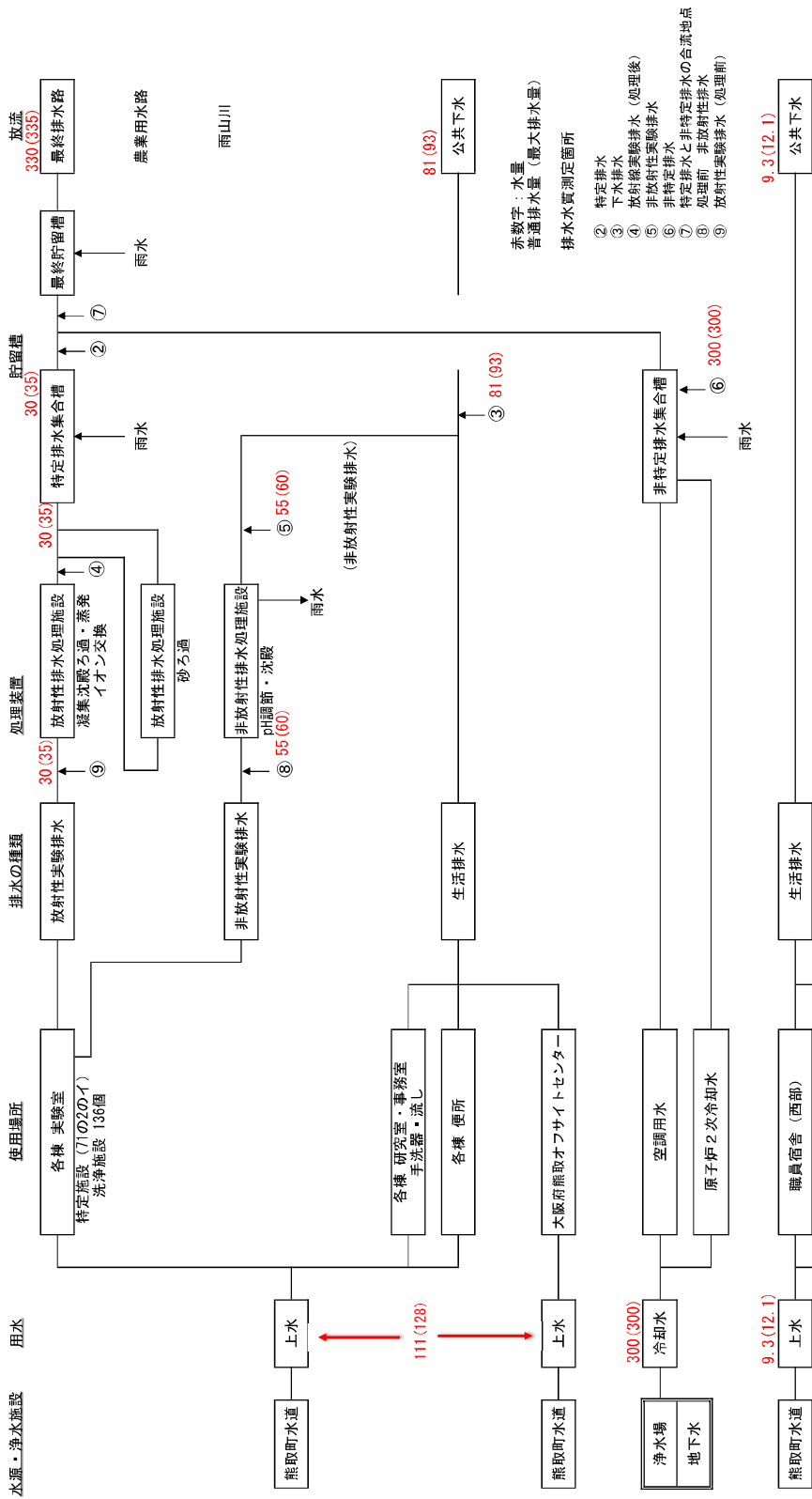
別図2 排水経路

用水及び排水の系統図（変更前）



(別図 5-1) 用水及び排水の系統（変更前）

用水及び排水の系統図（変更後）



(別図 5-2) 用水及び排水の系統 (変更後)

特定施設の設置場所

特定施設(洗浄施設)の設置場所		71の2のイ 洗浄施設				
建物名	区分	種類・施設番号	数量	構造・主要寸法等	設置年月日	処理方法
原子炉棟・ホットラボラトリ (別図2-B-1)	放射性	実験流し SK1.2	2	ステンズ製 520×370×300mm 50L	H26.12.10	場内で処理
	"	実験流し SK3.4	2 (2)	陶器製 530×370×170mm 30L	H26.12.10	場内で処理
	"	フィルム現像用流し SQ1-4	4	ステンズ製 550×485×110mm	S38.4	場内で処理
	"	実験流し SD1-4	4 (4)	ステンズ製 800×485×225mm	S38.4	場内で処理
	"	実験流し SP1.2	2	ステンズ製 六角形 50・30・50・50・35・50cm	H26.7	場内で処理
	"	実験フード11,12,13	3 (3)	塩ビ製 1800×2300×750mm 900L	H26.12.10	場内で処理
トレーサー棟 (別図2-B-2)	放射性	実験流し SA	20	ステンズ製 550×485×145mm	S38.4	場内で処理
	非放射性	実験流し SA	1	ステンズ製 550×485×145mm	S38.4	下水へ接続
	放射性	実験流し SA11	1	ステンズ製 400×400×145mm	R3.3.29	場内で処理
	"	実験流し SAA1	3 (2)	ステンズ製 1890×460×170mm	S38.4	場内で処理
	"	実験流し SAA1	1	ステンズ製 1890×460×170mm	R2.7.7	場内で処理
	"	実験流し SAA2	1	ステンズ製 1500×460×170mm	R2.7.7	場内で処理
	"	実験流し SS1	1	陶器製 505×305×140mm	S38.4	場内で処理
	"	実験流し SS2	1	陶器製 660×380×110mm	R2.7.7	場内で処理
	"	実験フード	6 (4)	ステンズ製	S38.4	場内で処理
	生物別棟(別図2-B-2)	放射性	実験流し SA	4	ステンズ製 550×485×145mm	S39.4
第一研究棟 (別図2-B-3-2-1)	非放射性	実験流し SK1	1 (0)	ステンズ製 700×470×220mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK2	2 (0)	ステンズ製 1060×480×200mm OKAMURA	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK3	1 (1)	ステンズ製 800×410×222mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK4	1 (1)	ステンズ製 1000×470×220mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK5	3 (3)	ステンズ製 1400×480×330mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK6	1 (1)	ステンズ製 800×410×300mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK7	1 (1)	ステンズ製 1120×380×240mm ORIENTAL	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK8	1 (1)	ステンズ製 1115×530×230mm NSN-120S	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK9	2 (2)	ステンズ製 800×410×300mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK10	1 (1)	ステンズ製 1100×490×350mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK11	5 (5)	予定	予定	下水へ接続
	"	洗面化粧台流し STL	1 (0)	陶器製 600×500×200mm	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験フード No.1	1 (1)	ステンズ製 室内有効径1800mm×室内有効奥行400mm×開口高さ780mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験フード No.2	1 (1)	予定 I-108室	予定	下水へ接続
	"	実験フード No.3	1 (1)	予定 I-109室	予定	下水へ接続
	"	実験フード No.4	1 (1)	予定 I-110室	予定	下水へ接続
	"	実験フード No.5	1 (1)	予定 I-114室	予定	下水へ接続
	"	実験フード No.6	1 (1)	予定 I-116室	予定	下水へ接続
	"	実験フード No.7	1 (1)	予定 I-119室	予定	下水へ接続
	"	実験フード No.8	1 (1)	ステンズ製 室内有効径1200mm×室内有効奥行600mm×開口高さ780mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
"	実験フード No.9	1 (1)	予定 I-211室	予定	下水へ接続	
第二研究棟 (別図2-B-4)	非放射性	実験流し STL	11 (10)	ステンズ製 550×400×220mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
	"	実験流し SK1	2 (2)	ステンズ製 1320×390×230mm SHIMADZU	R5.7.28	下水へ接続
	"	実験流し SK2	1 (1)	ステンズ製 1320×390×230mm SHIMADZU	R5.7.28	下水へ接続
	"	実験流し SK3	1 (1)	ステンズ製 1320×390×230mm SHIMADZU	R5.7.28	下水へ接続
	"	実験フード	7 (7)	ステンズ製 SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続
廃棄物処理棟 (別図2-B-5)	放射性	実験流し SK2	2	ステンズ製 1360×430×200mm	R2.7.7	場内で処理
	"	実験流し SK3	2	ステンズ製 630×520×200mm	R2.7.7	場内で処理
	"	実験流し SK7	1	陶器製 610×472×152mm	S39.4	場内で処理
	"	実験流し SK7	1	陶器製 610×472×152mm	R3.3.29	場内で処理
	"	実験流し SA7	2	ステンズ製 520×480×230mm	R2.7.7	場内で処理
	"	実験フード	2	ステンズ製	S39.4	場内で処理
	非放射性	実験流し SSA	3 (2)	ステンズ製 1100×580×290mm 150L	H25.5	下水へ接続
	"	実験流し GK	2	ステンズ製 550×400×160mm 28L	H25.5	下水へ接続
電子線加速器(ライナック)施設 (別図2-B-6)	放射性	実験流し L220D	1	陶器製 534×432mm 6.9L	S39.4	場内で処理
	非放射性	実験流し SK7	1	陶器製 610×472×152mm	H3.4.1	下水へ接続
粒子線腫瘍学研究センター実験室 (別図2-B-7)	"	実験流し SSU	1	ステンズ製 1050×550×800mm	H3.4.1	下水へ接続
粒子線腫瘍学研究センター (別図2-B-8)	非放射性	実験流し SSA	2	ステンズ製 1200×750×800mm	H5.11	下水へ接続
	"	実験流し SSU	1	ステンズ製 1050×550×800mm	H5.11	下水へ接続
イノベーションリサーチ棟(総合研究実験棟) (別図2-B-9)	放射性	実験流し SK8	2	陶器製 650×500×250mm	R3.3.29	場内で処理
	"	実験流し SK9	1	陶器製 600×520×200mm	R3.3.29	場内で処理
計		実験流し	101 (40)			
		フィルム現像用流し	4 (0)			
		実験フード	31 (26)			

数量の○内は有害物質使用特定施設の数

特定施設の設置場所

特定施設(洗浄施設)の設置場所		71の2のイ 洗浄施設					
建物名	区分	種類・施設番号	数量	構造・主要寸法等	設置年月日	処理方法	
原子炉棟・ホットラボラトリ (別図2-B-1)	放射性	実験流し SK1.2	2	ステンレス製 520×370×300mm 50L	H26.12.10	場内で処理	
	"	実験流し SK3.4	2 (2)	陶器製 530×370×170mm 30L	H26.12.10	場内で処理	
	"	フィルム現像用流し SQ1-4	4	ステンレス製 550×485×110mm	S38.4	場内で処理	
	"	実験流し SD1-4	4 (4)	ステンレス製 800×485×225mm	S38.4	場内で処理	
	"	実験流し SP1.2	2	ステンレス製 六角形 50×30・50・50・35・50cm	H26.7	場内で処理	
	"	実験フード11.12.13	3 (3)	塩ビ製 1800×2300×750mm 900L	H26.12.10	場内で処理	
トレーサー棟 (別図2-B-2)	放射性	実験流し SA	20	ステンレス製 550×485×145mm	S38.4	場内で処理	
	非放射性	実験流し SA	1	ステンレス製 550×485×145mm	S38.4	下水へ接続	
	放射性	実験流し SA11	1	ステンレス製 400×400×145mm	R3.3.29	場内で処理	
	"	実験流し SAA1	3 (2)	ステンレス製 1890×460×170mm	S38.4	場内で処理	
	"	実験流し SAA1	1	ステンレス製 1890×460×170mm	R2.7.7	場内で処理	
	"	実験流し SAA2	1	ステンレス製 1500×460×170mm	R2.7.7	場内で処理	
	"	実験流し SS1	1	陶器製 505×305×140mm	S38.4	場内で処理	
	"	実験流し SS2	1	陶器製 660×380×110mm	R2.7.7	場内で処理	
	"	実験フード	6 (4)	ステンレス製	S38.4	場内で処理	
	生物別棟(別図2-B-2)	放射性	実験流し SA	4	ステンレス製 550×485×145mm	S39.4	場内で処理
第一研究棟 (別図2-B-3-2-2)	非放射性	実験流し SK1	1 (0)	ステンレス製 700×470×220mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK2	2 (0)	ステンレス製 1060×480×200mm OKAMURA	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK3	1 (1)	ステンレス製 800×410×222mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK4	1 (1)	ステンレス製 1000×470×220mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK5	3 (3)	ステンレス製 1400×480×330mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK6	1 (1)	ステンレス製 800×410×300mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK7	1 (1)	ステンレス製 1120×380×240mm ORIENTAL	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK8	1 (1)	ステンレス製 1115×530×230mm NSN-120S	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK9	2 (2)	ステンレス製 800×410×300mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK10	1 (1)	ステンレス製 1100×490×350mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験流し SK11	5 (5)	予定	予定	下水へ接続	
	"	洗面化粧台流し STL	1 (0)	陶器製 600×500×200mm 廃止	許可後	下水へ接続	
	"	実験フード No.1	1 (1)	ステンレス製 室内寸法幅1850mm×奥行450mm×開口高さ780mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
	"	実験フード No.2	1 (1)	予定 I-108室	予定	下水へ接続	
	"	実験フード No.3	1 (1)	予定 I-109室	予定	下水へ接続	
	"	実験フード No.4	1 (1)	予定 I-110室	予定	下水へ接続	
	"	実験フード No.5	1 (1)	予定 I-114室	予定	下水へ接続	
	"	実験フード No.6	1 (1)	予定 I-116室	予定	下水へ接続	
	"	実験フード No.7	1 (1)	予定 I-119室	予定	下水へ接続	
	"	実験フード No.8	1 (1)	ステンレス製 室内寸法幅750mm×奥行450mm×開口高さ780mm SHIMADZU	R7.10.20	下水へ接続	
"	実験フード No.9	1 (1)	予定 I-211室	予定	下水へ接続		
"	実験フード No.10	1 (1)	ステンレス製 室内寸法幅1040mm×奥行450mm×開口高さ780mm SHIMADZU	R7.12.24	下水へ接続		
第二研究棟 (別図2-B-4)	非放射性	実験流し STL	11 (10)	ステンレス製 550×400×220mm SHIMADZU	R7.9	下水へ接続	
	"	実験流し SK1	2 (2)	ステンレス製 1320×390×230mm SHIMADZU	R5.7.28	下水へ接続	
	"	実験流し SK2	1 (1)	ステンレス製 1320×390×230mm SHIMADZU	R5.7.28	下水へ接続	
	"	実験流し SK3	1 (1)	ステンレス製 1320×390×230mm SHIMADZU	R5.7.28	下水へ接続	
	"	実験フード	7 (7)	ステンレス製 SHIMADZU	R7.9	下水へ接続	
廃棄物処理棟 (別図2-B-5)	放射性	実験流し SK2	2	ステンレス製 1360×430×200mm	R2.7.7	場内で処理	
	"	実験流し SK3	2	ステンレス製 630×520×200mm	R2.7.7	場内で処理	
	"	実験流し SK7	1	陶器製 610×472×152mm	S39.4	場内で処理	
	"	実験流し SK7	1	陶器製 610×472×152mm	R3.3.29	場内で処理	
	"	実験流し SA7	2	ステンレス製 520×480×230mm	R2.7.7	場内で処理	
	"	実験フード	2	ステンレス製	S39.4	場内で処理	
	非放射性	実験流し SSA	3 (2)	ステンレス製 1100×580×290mm 150L	H25.5	下水へ接続	
	"	実験流し GK	2	ステンレス製 550×400×160mm 28L	H25.5	下水へ接続	
	"	実験流し	1	ステンレス製 1120×500×230mm 100L	H25.5	下水へ接続	
	"	実験フード LDS	3 (2)	セラミタイト 1200×2400×750mm 500L	H25.5	下水へ接続	
電子線加速器(ライナック)施設 (別図2-B-6)	放射性	実験流し L220D	1	陶器製 534×432mm 6.9L	S39.4	場内で処理	
粒子線腫瘍学研究センター実験室 (別図2-B-7)	非放射性	実験流し SK7	1	陶器製 610×472×152mm	H3.4.1	下水へ接続	
	"	実験流し SSU	1	ステンレス製 1050×550×800mm	H3.4.1	下水へ接続	
粒子線腫瘍学研究センター (別図2-B-8)	非放射性	実験流し SSA	2	ステンレス製 1200×750×800mm	H5.11	下水へ接続	
	"	実験流し SSU	1	ステンレス製 1050×550×800mm	H5.11	下水へ接続	
イノベーションリサーチホトリイ融合研究実験棟 (別図2-B-9)	放射性	実験流し SK8	2	陶器製 650×500×250mm	R3.3.29	場内で処理	
	"	実験流し SK9	1	陶器製 600×520×200mm	R3.3.29	場内で処理	
計		実験流し	100 (40)				
		フィルム現像用流し	4 (0)				
		実験フード	32 (27)				

数量の()内は有害物質使用特定施設の数

追加特定施設

建物名	種類・施設番号	追加数	構造・主要寸法等	追加年月日	備考
第一研究棟 (別図2-B-3-2)	実験フード	1	ステンレス製(別図7-14参照)	R7.12.24	1-214室(有害物質使用あり)
計	実験流し	0			
	フィルム現像用流し	0			
	実験フード	1			

※有害物質使用の記載がないものに関しては、使用なしとする。

廃止特定施設

建物名	種類・施設番号	変更数	構造・主要寸法等	廃止年月日	備考
第一研究棟(別図2-B-3-1-2)	洗面化粧台流し STL	1	陶器製 600×500×200mm	許可後	1-111室 廃止
計	洗面化粧台流し	1			
	フィルム現像用流し	0			
	実験フード	0			